

泥炭のお話し執筆者名簿

神 谷 光 彦	北海道工業大学工学部社会基盤工学科	第1章
稻 直 美	(有)地盤工房	第2章
齊 藤 和 夫	基礎地盤コンサルタンツ(株) 北海道支社	第3章
折 笠 章	北海道土質試験共同組合	第4章
福 田 文 彦	北海道大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻	第5章
林 宏 親	独立行政法人北海道開発土木研究所土質基礎研究室	第5章
林 啓 二	(株)ドーコン地質部	第6章
佐 藤 厚 子	独立行政法人北海道開発土木研究所土質基礎研究室	第6章

目 次

第1章 泥炭とは	1
1.1 泥炭とは	1
1.2 泥炭の特徴	3
1.3 泥炭地盤の問題点	5
1.4 世界の泥炭の分布	9
1.5 泥炭地と地名	12
1.6 資源としての泥炭	13
1.7 泥炭地の環境保全	15
第2章 泥炭地のでき方、分布と特徴	19
2.1 泥炭地のでき方	19
2.2 泥炭地の分布	25
2.3 主な泥炭地の特徴	29
第3章 泥炭地盤の工学的特性	43
3.1 普通の土と泥炭との違い	43
3.2 沈下のはなし	47
3.3 支える力（地盤支持力）のはなし	49
3.4 泥炭地盤はよく揺れる！？	52
第4章 泥炭の調査・試験方法	55
4.1 泥炭を調べる手順	55
4.2 野外で泥炭を調べる方法	57
4.3 実験室で泥炭を調べる方法	71

第5章 泥炭地盤の数値計算	77
5.1 泥炭地盤の特徴	77
5.2 支持地盤としての泥炭地盤の問題	78
5.3 泥炭地盤の沈下	81
5.4 泥炭地盤の破壊	85
5.5 泥炭地盤挙動のコンピューター・シミュレーション	88
第6章 泥炭地盤の対策と施工事例	93
6.1 泥炭地盤の対策	93
6.2 対策工の選び方	93
6.3 対策工の事例	97
6.4 トラブルや失敗例から学んだこと	100
6.5 土木材料としての泥炭対策	105
編集後記	109
索引	111

第1章 泥炭とは

1.1 泥炭とは

植物が枯れて堆積すると、茎や葉っぱ、根は化学的作用によって分解し、やがてはガス化して消失していきます。しかし、気候的条件や地形的条件によっては、枯れた植物が十分に分解しないまま堆積し、厚みを増してゆきます。このようにしてできたものを泥炭といいます。

「泥の炭」とは奇妙な名前ですが、これはかつて石炭の一種とみなされていて、実際に燃料として利用されていたからです。

普通の土と泥炭を区別するときは、「有機物含有量」で判断します。有機物含有量とは、土の中に含まれる有機物（植物の枝葉や根など）の割合のことです。土壤学の分野で有機物含有量 50%以上を泥炭といい、理工学分野では有機物含有量 20%以上を泥炭と呼ぶ傾向にあります。

地盤工学会では「地盤材料の工学的分類」¹⁾によって土をいろいろな種類に分けています。この分類法では、目でみた感じと握った感じで、有機物を多く含むものを高有機質土（略号は Pm）と呼んでいます。さらに、この土を握り締めたとき絞り出されてくる水が白色～褐色で、手に残ったものに植物の繊維が観察できるものを泥

入門書等企画委員会名簿

委 員 長	吉 村 優 治	岐阜工業高等専門学校 環境都市工学科
委員兼幹事	小田部 雄 二	大成基礎設計(株) 地盤エンジニアリング事業部
"	峯 岸 邦 夫	日本大学理学部社会交通工学科 地盤工学研究室
委 員	阿 部 知 之	応用地質(株)技術本部 環境技術センター
"	井 澤 淳	東京工業大学理学研究科 土木工学専攻
"	伊 藤 浩	東急建設(株)技術研究所 土木エンジニアリング部
"	岸 下 崇 裕	(株)フジタ技術センター 土木研究部土木構造グループ
"	小 濱 英 司	独立行政法人港湾空港技術研究所 地盤・構造部構造振動研究室
"	桜 井 晋 介	(株)東京ソイルリサーチ 技術部技術一課
"	菅 井 太	東京都下水道局北部建設事務所 建設課設計調整係
"	高 橋 浩	前田建設工業(株)技術本部 技術研究所技術開発(土木)グループ
"	田 尻 要	群馬工業高等専門学校 環境都市工学科生活環境研究室
"	戸 村 豪 治	三井住友建設(株)技術研究所 環境研究開発部地盤環境研究室
"	原 田 克 之	川崎地質(株)事業本部 地盤研究室
"	森 田 年 一	福島工業高等専門学校 建設環境工学科

(平成16年7月現在)

ジオテクノート14 泥炭のお話し

平成16年7月31日 第1刷発行

編 集	地盤工学会泥炭のお話し編集委員会
発 行	社団法人地盤工学会 東京都文京区千石4-38-2 〒112-0011 Tel.03-3946-8677 Fax.03-3946-8678
発 売	丸善株式会社 出版事業部 東京都中央区日本橋2-3-10 〒103-8245 Tel.03-3272-0521 Fax.03-3272-0693
印 刷	株式会社 報光社

©2004社団法人地盤工学会 16.7.2000-945 ⑤

ISBN 4-88644-214-5

価格はカバーに表示しております。

乱丁・落丁は送料当学会負担にてお取り替えいたします。
お手数ですが、地盤工学会まで現物をお送り下さい。